

水質保全で『ホタル』と共に

平成22年度
秋田県 農地・水・環境保全研修会
大曲ほたるの会
活動事例発表

平成23年2月26日
大曲ほたるの会
代表 成田 和保

1

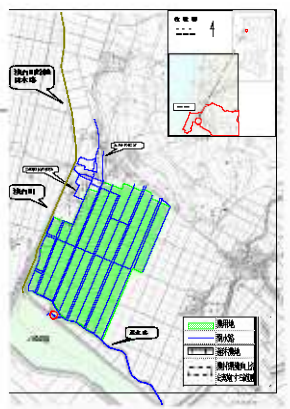
地区の概要

八郎潟の北部 山本郡南部 三種町
対象農地面積 111.2ha
開水路 1.4km 農道 1.8km
主水源 浅内沼 排水先 八郎湖

鵜川土地改良区管内
7組織 農地・水鵜川地区連絡協議会結成

水質調査を全組織で行う。

位置図

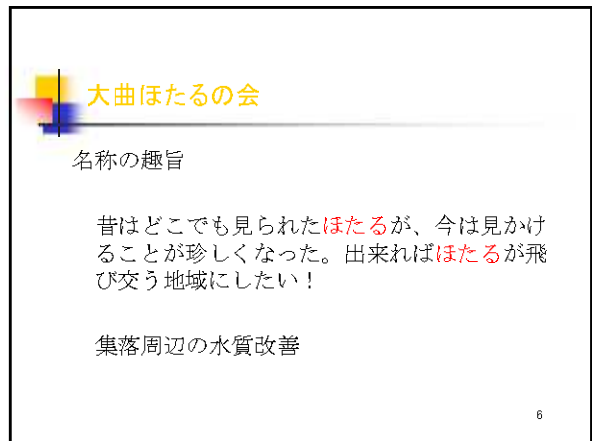


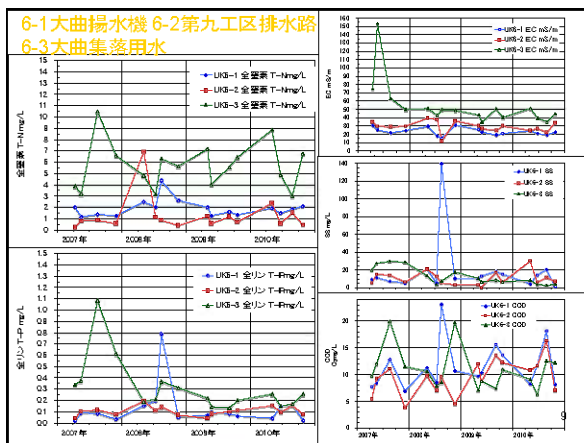
3

協議会の統一した取り組み

1. 地区では反復用水が多いため、にごり水を使用して米作りを行っている。ある農家から、「こんな水で稲作りしているのを消費者から見られたら、米は売れない!」と心配された。
2. 八郎湖の水質悪化（アオコ）を改善するため、地域の努力-結果ほたるが住める水。

4





調査結果

- ・随所に水質の改善傾向が認められた。
- ・営農上、心配される汚濁水域が確認された。また汚濁負荷の発生源として改善の余地があった。
- ・多くの測定値から、水田や溜池、反復利水など水田灌漑農業が流域の水質保全に重要な役割を果たしていた。

ワークショップ

The photograph shows a group of people, including men and women, gathered around a table. They are looking at a large map or document spread out on the table. The people are engaged in a discussion or activity, with some pointing at the map and others looking towards the camera. The setting appears to be an outdoor or semi-outdoor area, possibly a community center or a meeting hall.



まとめ

- ・地域全体での水質改善は、自然の良化に繋がり、ホタルの住める地域になる
- ・地域の環境・水質改善で、安全なおいしい米づくりが出来る。
- ・鶴川地区の水質改善(水田農業)は、八郎湖の水質保全にとって、大変重要である。
- ・「農業は地域と国の宝」との確信がさらに深まった。